



庄原自治振興区だより

第123号 平成29年1月20日発行

〒727-0013
庄原市西本町二丁目17番15号
TEL/FAX
(0824) 72-3777



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

区民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は本区の諸活動及び各自治会の活動に積極的にはご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。本区は平成17年に結成され、「より安全で安心して暮らせる協働のまちづくり」を目指して様々な活動を行ってまいりました。



本区を取り巻く状況は、過疎化・少子高齢化が進み福祉・防災など、日常生活に関わる多くの課題が山積しております。こうした地域の課題を克服し、地域住民が行政と連携を図りながら目的を達成するためには、自治振興区の果たす役割は重要であります。

昨年は区民相互の親睦や世代間交流の場として、グラウンド・ゴルフ大会、ウォーキングの集い、活動報告・作品展、のろし祭などに取り組んでまいりました。

そして、「安全安心なまちづくり」に向けては、「さりげない見守り活動」「自主防災活動」などの推進に努めてまいりました。又、昨年は地域振興計画が目指す将来像に向け、効果的な事業推進を図るため、組織検討委員会を設置し組織の見直しに取り組みました。

将来に向けて本区の活動がより活性化し、地域みなさんが集い、交流できる組織となるよう議論を重ね、今後の活動に活かしてまいります。

新春を迎え、子どもから高齢者まで「元気で安心して楽しく暮らせる地域社会」を自治振興区活動を通して、皆様と共に創ってまいりたいと願っております。

最後に、新しい年が皆様にとって幸多き年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

庄原自治振興区長 谷川 巖



消しましょう その火 その時 その場所で



第9回 役員会報告

(12月20日) 協議事項等は次の通りです。

- (1) 第10回庄原自治振興区活動報告及び作品展について(展示物等の参加率、約15%向上)
 - ・活動・作品展示など・・・展示数・団体58、ステージ発表5、バザーなど4、本区11事業展示
 - ・その他・・・環境衛生部(がん検診へ行こうキャンペーン)、新規自主事業(粘土キャンドル制作)24人参加
- (2) 第9回ののろし祭りについて
 - ・実施状況・・・豚汁250食・お汁粉100食・焼き餅300個一完食、子供宝くじ50個
 - ・検討・課題事項・・・参加者増員対策(費用対効果)
- (3) 平成28年度防犯研修会について
 - ・日時・会場・・・H29年2月28日(火) 庄原グランドホテル(役員会終了後実施)
 - ・講演内容・・・講師：庄原警察署長 『庄原市の防犯の情勢と課題について』
- (4) その他
 - ・自治会活動写真展示・・・H29年1月16日～23日、展示会場：ジョイフル1階展示スペース
- (5) 自治会活動発表・・・川手沖：元泉自治会長、 次回発表 宮内：光廣自治会長

戸郷川憩いの場づくり

— 大歳下自治会 —

大歳下自治会は、他地域と同様に会員の高齢化により、空き家・ひとり暮らし世帯が増え、そうした状況の中で、地域住民の親睦交流の機会が難しくなっているのが現状であります。

また、地域の環境面においては、戸郷川の水質は改善されつつありますが、河川周辺（土手）の環境は、雑草が生い茂り、環境美化が必要になって来ております。

この様な状況の中、自治振興区活動促進補助金等を活用して、住民相互の協力のもと、環境美化活動を行うことにより、将来にわたって美しい自然環境の維持と、お互いに関わりの持てる憩いの場づくりを目的に、次の事業に取り組んで参ります。

- ①戸郷川の土手周辺の環境美化活動
- ②憩いの場づくりとしての桜の植樹と維持管理
- ③地域住民が集える場としての「交流イベント」



炊き出し訓練そして交流会

— 紅屋自治会 —

自主防災組織活動補助金等を利用して‘自主防災倉庫’等を購入。10月23日（日）、いつ発生するかわからない災害に備えると共に、地域の絆を深めるため、炊き出し訓練と交流会を実施しました。炊飯・むすび・カレー・うどん等をコンビネーション良く準備して交流会となりました。しりとりゲーム、老人クラブ結いの会の合唱、子ども会のなぞなぞなど、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。



もしもの事態に備えて

～川手上自主防災本部～



消火訓練

11月13日（日）「もしもの事態が突然に発生」という想定で訓練を三部構成で実施。第一部「初期消火活動（自助）」は全戸（住民 235名）対象。情報伝達部会のエリアトークの指示に従って開始。

日頃火を扱っている所を想定火点に、発見と同時に「火事だ」と叫びながら消火器・水道ホース・バケツなど、どれか一つの方法で現場に駆けつけること。

第二部「消火訓練（自助・共助）」は、川手農村公園に集合。火災対策部会を中心に諸準備を進め、庄原消防署員の指導のもと実施しました。今回は、訓練用の粉末消火器のほかに強化液消火器も揃え違いを見ました。強化液消火器は従来の粉末と違って、浸透性にすぐれ布団や畳などの消火に適していることや、オイル火災にも適しているなど万能であると分かりました。また水消火器を使つての実施練習もしました。

第三部「心肺蘇生法 AED 実技演習（共助）」は集会所に移動し、救護支援部会がサポート役で消防署員の指導を受けました。身をもって体得しておけば、いざという時にただちに行動でき、亡くなる生命をも救うことができます。具体的で懇切丁寧な消防署員のご指導で本当によく分かる充実した訓練でした。



心肺蘇生法演習

念願のサロン 「わかば会」発足！！

— 大久保西自治会 —

大久保西自治会では、念願のサロンを立ち上げました。

この発足は、2年前から自治会の総会で「是非と地域にサロンを立ち上げ、地域のコミュニティを深めよう。」と議論しながらも、なかなか発足できていなかったものです。

総会で「サロン発足」を確認しましたが、サロンについての知識はほとんどなく、庄原市社会福祉協議会（以下「社協」）へ行き、担当者から豊富な知識と経験をもとに「サロンとは！組織づくりと運営方法など」についてわかりやすく話していただきました。

第1回目のサロンは6月19日、社協で教わった「サロンの趣旨、目的」を簡単に説明。参加者からは「楽しく、無理のないサロンを！」という意見が出され、当面2ヶ月に1回程度の奇数月開催で、会費もお茶代程度(1回100円)、持ち寄りでの計画を立てました。



7月、9月に開いた会では、主に参加者自身の交流を中心に我が家のこと、地域のことなど語りあいました。11月には、社協のサロン指導者との交流会を開催、市内のサロン活動の様子や高齢者の課題と対応、市社協の福祉活動と福祉制度のあらまし、高齢期を迎えての日常生活と食事など多様な話をいただき実り多き会となりました。

また市社会福祉協議会の「サロン指導者交流会」に2名が代表参加、市内の経験豊かな他のサロンの活動を学びよい研修となりました。1月には「新春の集い」を計画、楽しく温かな会を目指しています。

念願のごみステーション設置

— 宮の下自治会 —

私たちの地区は、庄原市東本町の「宮の下自治会上組1班」です。

12世帯で構成されていて、当初ゴミの集積場は市道沿いの狭いスペースを利用しビニールシートなどを掛けるだけの簡素な集積場でした。時にはカラス、タヌキや猫によりゴミ袋が破られ道路上に散らかされ、悪臭が発生し、その都度清掃を行なわなければなりませんでした。

また、近年この地区の高齢化が進んでいることから、ゴミ集積場を半永久的に管理できる「ごみステーション設置」を誰もが望んでいました。ただ、このゴミ集積場の更新には少し問題がありました。それは市道の側溝上にあった為、「ごみステーション」の奥行幅が50cm以上取れないことで、市道道路占有許可と「ごみステーション」の規格をどうすべきかでした。

この問題を解決できたのは、庄原市リサイクルセンター担当者の助言が大いに役立ちました。この中には各申請方法や庄原市、庄原自治振興区から補助金が出ることも聞け、特に設置に大きな負担となっていた金銭の問題も解決でき、1世帯当たりの負担金も少なく済みました。設置には、コンクリート製の土台作りから「ごみステーション」の取り付け作業までを地区で行い完成させました。

この「ごみステーション」は、全てステンレス製の既製品で、コンパクトで蓋も軽く、女性や高齢者にも負担の少ない構造になっています。念願のごみステーションの設置は、この地区においては大きな事業でしたが、地域の環境保全を守るうえで、みなさんに喜んで貰えてよかったと思います。



道の駅「萩 しーまーと」研修

庄原地区自治振興区連絡協議会

11月30日(水)午前8時、総勢7名でプレイランド出発、中国道・山陽道を経由、山口県萩市の「道の駅」で先進地・日帰り研修を行いました。この道の駅は、国道191号線の益田市方面1.2キロで生鮮市場に隣接、館内には地元食材レストラン・鮮魚・土産品・野菜果物・丼物軽食・海産物・ベーカリー・精肉店など、全17店舗で運営、売り上げは年商約10億円。

研修は、パワーポイント画像を見て説明を聞きながら行いました。(庄原自治振興区事務局)



保育所に サンタさん がやって来ました！

— 永末保育所 —

12月22日みんなが楽しみにしていたクリスマス会に、サンタさんが来てくれました。子どもたちはサンタさんの登場にびっくりしながら不思議そうに見ていました。歌のプレゼントに鈴を鳴らして喜び、子どもたちの質問コーナーでは、「何色の服が好きですか」の問いに「カープが好きじゃけえ、赤色ですよ。」となんだか身近に感じたサンタさんでした。

みんなのお手紙を手渡すと、「うれしいよ。若い頃に戻ったようじゃ」と気持ちを表現し、一緒にダンスを踊って楽しい会になりました。帰るとき握手をした子が、「あ〜サンタさんの手があったたかった〜」と頬に手を当て、嬉しそうでした。



サンタさん あいがとう またきてね！

— 庄原保育所 —

12月22日子どもたちが心待ちにしていたクリスマス会。庄原保育所に2人のサンタさんが来てくれました。舞台の幕間から「メリークリスマス」と現れたサンタさんに「わーっ サンタさんだー」と大喜びの子どもたち。でもびっくりで固まっている子や、不安そうな子どももいて、いろいろな思いでサンタさんを迎えました。園児の歌を聞いてもらったり、一緒に歌ったり、職員のハンドベルも聞いてもらい、楽しく過ごしました。質問コーナーでは、「なんで日本人なんですか？」と微笑ましい質問も出ていました。プレゼントをもらい「ありがとう」と全園児にっこり。サンタさんと仲良しになり、大好きになった子どもたちでした。



大きなおなかの サンタさんがやってきた！

— 庄原幼稚園 —

12月21日お誕生会がおわり、キャンドルに灯をともし静かに待っていたら、ステージの幕が上がり、大きなプレゼント袋を3個も持って、サンタさんが立っていました。

サンタさんは大きく手を振ってご挨拶、早速プレゼントを配ってくれました。良い子のお友達はお礼に“うさぎ野原のクリスマス・あわてんぼうのサンタクロース”の2曲を歌いました。

サンタさんは、お友達に早くプレゼントを渡したくて、今年もあわててやって来たみたいでした。



2月の振興区主催行事予定

7日(火)	自治振興区総務企画室会議	13:30～
11日(土)	子ども将棋教室	9:30～
14日(火)	自治振興区理事会	13:30～
21日(火)	環境美化・防犯パトロール	9:00～

(石丸・柳原・西県営住宅・大歳県営住宅の
各自治会長)

25日(土)	子ども将棋教室	9:30～
28日(火)	自治振興区役員会	13:30～
28日(火)	防犯研修会	16:00～
・毎週1回	青少協防犯パトロール	16:30～



編集後記

本区では、1年間かけて見直した“より安全でより安心して暮らせる協働のまちづくり”を目指した当振興区「地域振興計画」の概要版を、昨年全自治会会員宅へ配布しました。この「地域振興計画」に沿って、各自治会では活発な活動が行われています。

今月号では、環境美化活動と地域の交流・防災訓練・サロン活動等各自治会の活動を紹介しました。

地域の交流といえば、先日私どもの地域では「子供たち」と「老人会」との交流会を行いました。紙芝居『マッチ売りの少女』の話の子供たちは全員知っていました。私の先入観では、今の子供たちは知らないと思っていました。今年は、先入観をまだ改めねばならない事がありそうです。

F 記